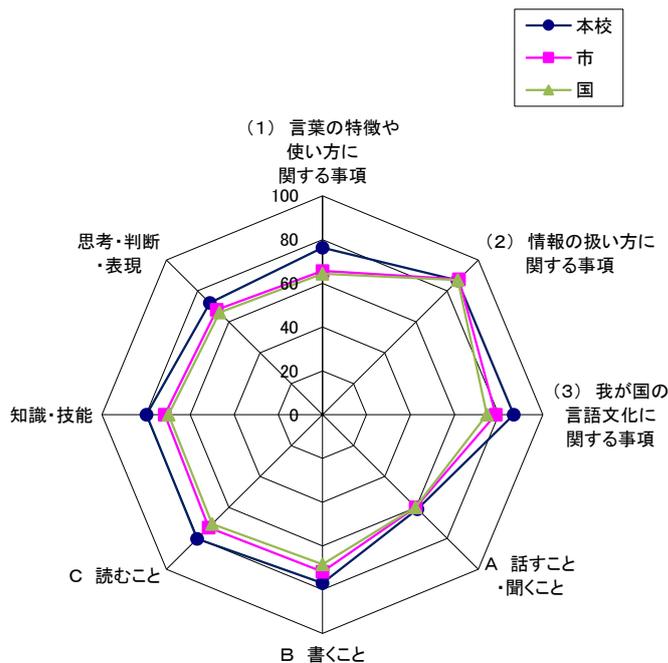


# 宇都宮市立峰小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

## ★本年度の国、市と本校の状況

### 【国語】

| 分類  | 区分                  | 本年度  |      |      |
|-----|---------------------|------|------|------|
|     |                     | 本校   | 市    | 国    |
| 領域等 | (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 | 76.3 | 65.7 | 64.4 |
|     | (2) 情報の扱い方に関する事項    | 86.8 | 87.6 | 86.9 |
|     | (3) 我が国の言語文化に関する事項  | 86.8 | 78.6 | 74.6 |
|     | A 話すこと・聞くこと         | 61.0 | 59.9 | 59.8 |
|     | B 書くこと              | 77.0 | 71.8 | 68.4 |
|     | C 読むこと              | 80.3 | 72.9 | 70.7 |
| 観点  | 知識・技能               | 79.8 | 71.5 | 69.8 |
|     | 思考・判断・表現            | 72.2 | 67.8 | 66.0 |
|     | 主体的に学習に取り組む態度       |      |      |      |



### ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

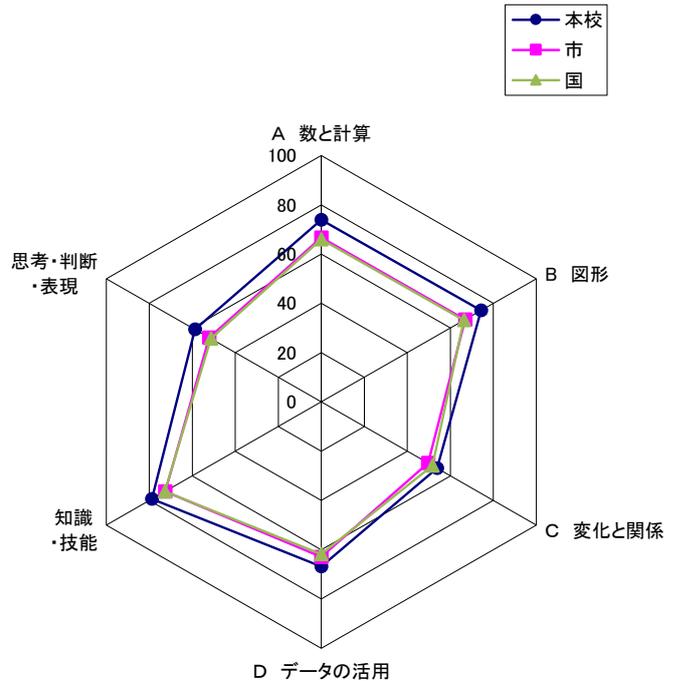
| 分類・区分               | 本年度の状況  | 今後の指導の重点   |
|---------------------|---|--|
| (1) 言語の特徴や使い方に関する事項 | 平均正答率は76.3%で、国の正答率を11.9ポイント、市の正答率を10.6ポイント上回った。<br>○漢字の書きでは、2問とも14.5ポイント、10.8ポイントと国の平均を上回った。<br>○話し言葉と書き言葉の違いに気付くことができる問題では、国の平均を10.9ポイント上回った。                                  | ・漢字の学習については、繰り返し練習するとともに、文章の中で既習の漢字を使い、場面に合った漢字を漢字の意味とともに習得させていく。<br>・送り仮名にも注目させて漢字の理解を深めさせていく。  |
| (2) 情報の扱い方に関する事項    | 平均正答率は61.3%で、国の正答率を0.1ポイント、市の正答率を0.8ポイント下回った。<br>●情報どうしの関連付けの仕方や、図による語句と語句との関係の表し方を理解し使う問題では、国の平均を0.1ポイント下回った。  | ・記号や印などを用いた情報どうしの関連付けの仕方を練習させるとともに、その作業の目的や意味を確認し、普段の授業や活動の中でも、そのような情報の整理の仕方ができるように指導していく。<br>・図などの目を引く資料に注目してしまいやすいところが見られたので、しっかりと本文に着目し読み取る力をつけていく。 |
| (3) 我が国の言語文化に関する事項  | 平均正答率は86.8%で、国の正答率を12.2ポイント、市の正答率を8.2ポイント上回った。<br>○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること役立つことに気付くことができるかどうかをみる問題では、国の平均を12.2ポイント上回った。  | ・日常的な読書活動の励行を続けるとともに、読解力とともに自身の教養や視野が広がることに気付かせる指導を続けていく。  |
| A 話すこと・聞くこと         | 平均正答率は61%で、国の正答率を1.2ポイント、市の正答率を1.1ポイント上回った。<br>○目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付たりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる問題では、国に平均を0.7%上回った。<br>●資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する問題では、国の平均を6.8%下回った。 | ・相手の話を聞き自分の考えをまとめ伝える力がさらにつくように、伝えたいことを落とさないように、話す内容を整理したり、分かりやすい構成で話したりできるよう指導していく。<br>・普段から資料をもとに表現する活動を多く取り入れることで、自分の考えを伝える能力が高められるように指導していく。        |
| B 書くこと              | 平均正答率は77%で、国の正答率を8.6ポイント、市の正答率を5.2ポイント上回った。<br>○目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題では、国の平均を7.9%上回った。   | ・課題作文を書く活動に取り組みさせる。普段の授業の中でも条件を設定して答えさせるなど、普段から条件を意識して文章を考えるように指導する場面を増やす。   |
| C 読むこと              | 平均正答率は80.3%で、国の正答率を9.6ポイント、市の正答率を7.4ポイント上回った。<br>○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる問題では、国の平均を17.3ポイント上回った。   | ・今後も、多くの文学的な作品や身近なパンフレットなどの資料から筆者や情報発信者の意図を正しく読み取る学習を続けていく。  |

# 宇都宮市立峰小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

## ★本年度の国、市と本校の状況

### 【算数】

| 分類 | 区分            | 本年度  |      |      |
|----|---------------|------|------|------|
|    |               | 本校   | 市    | 国    |
| 領域 | A 数と計算        | 73.9 | 66.7 | 66.0 |
|    | B 図形          | 74.3 | 66.9 | 66.3 |
|    | C 測定          |      |      |      |
|    | C 変化と関係       | 53.9 | 49.6 | 51.7 |
|    | D データの活用      | 66.8 | 62.9 | 61.8 |
| 観点 | 知識・技能         | 78.8 | 72.6 | 72.8 |
|    | 思考・判断・表現      | 58.8 | 52.2 | 51.4 |
|    | 主体的に学習に取り組む態度 |      |      |      |



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 分類・区分    | 本年度の状況  | 今後の指導の重点   |
|----------|---|--|
| A 数と計算   | <p>○平均正答率は73.9%であり、国の正答率を7.9ポイント、市の正答率を7.2ポイント上回った。</p> <p>○除数が小数である場合の除法の計算をすることができるかどうかをみる問題では、国の平均を12.8ポイント上回った。</p> <p>●示された情報を元に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる問題では、国の平均を0.6ポイント下回った。</p>     | <p>・計算の順序のきまりを繰り返し指導に加え、示された情報を基に、必要な数値を読み取って処理する反復練習を行い、定着を図る。</p>              |
| B 図形     | <p>○平均正答率は74.3%であり、国の正答率を8ポイント、市の正答率を7.4ポイント上回った。</p> <p>○角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる問題では、国の平均を10.9ポイント上回った。</p>   | <p>・引き続き、図形の構成要素や性質について繰り返し指導すると共に、今後もコンパスや分度器等の用具を使った活動を多く取り入れ、作図する力の定着を図る。</p> |
| C 変化と関係  | <p>○平均正答率は53.9%であり、国の正答率を2.2ポイント、市の正答率を4.3ポイント上回った。</p> <p>○速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できるかどうかをみる問題では、国の平均を8.9ポイント上回った。</p> <p>●道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題では、国の平均を4.7ポイント下回った。</p> | <p>・復習問題のプリントを活用し、理由を言葉や数を用いて記述できるように定着を図る。</p>                                  |
| D データの活用 | <p>○平均正答率は66.8%であり、国の正答率を5ポイント、市の正答率を3.9ポイント上回った。</p> <p>○折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる問題では、国の平均を8.6ポイント上回った。</p>  | <p>・示された情報を基に、表から必要な数値を選びを式に表したり、得られた数値の意味を判断したりする思考力を伸ばせるよう反復練習を行い、定着を図る。</p>   |

# 宇都宮市立峰小学校 第6学年 児童質問紙

## ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ。」と回答した児童の割合は、100%で、全国の平均を3.3ポイント上回っている。年に2回、いじめゼロ集会を行い、いじめについて一人一人が考える機会を設けたり、いじめゼロ強調月間にはいじめを題材とした道徳の授業を実施したりするなど、いじめは絶対に「しない・させない・許さない」という意識を学校全体で意識づけることができている成果であると考えられる。今後も、いじめは絶対に許されない行為であることを学級・学校全体で徹底していく。

○「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか。」の設問の肯定割合は94.9%で、全国の平均を8.6ポイント上回っている。また、「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」の設問の肯定割合は、94.8%で、全国の平均を3.2ポイント上回っている。各教科の授業において、グループ学習やペア活動を積極的に取り入れたり、学級活動の時間に学級の課題について話し合ったりするなど、考えを伝え合う場を多く行っている成果であると考えられる。自分の考えを相手に伝える力だけでなく、自分と友達の考えを比較したり、全体の意見をまとめたりする力も育ててきている。今後も、様々な活動において他者と関わり合い、協力し合ってよりよい学校生活が送れるよう支援していく。

○「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」の設問の肯定割合は94.9%で、全国の平均を5ポイント上回っている。また、「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」の設問の肯定割合は、87.2%で全国の平均を20.1ポイント上回っている。学級担任はもちろん、学校の教職員全体が行事や各教育活動で児童と積極的に関わり、信頼関係を築いている成果であると考えられる。今後も、児童のよさを見取り、認め励まし、自己肯定感や自己有用感を高めていけるような指導を行っていく。

●「携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。」の設問の肯定割合は、61.5%で、全国の平均を9.6ポイント、県の平均を7.5ポイント下回っている。スマートフォンや携帯電話の使い方やSNSの危険性については、出前授業や各学級で定期的に指導し、タブレットにおいても、情報担当と児童指導担当から学校全体にルールの周知を行っている。スマートフォンや携帯電話については、35.9%の児童は未所持であると回答しているが、児童がトラブルに巻き込まれることなく、安全にスマートフォンや携帯電話、タブレットを使用できるよう、家庭にも周知を図り、学校と連携して使い方を指導していく。

○●「算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」の設問の肯定割合は、92.3%で、全国の平均を9ポイント、県の平均を7.1ポイント上回っている。一方で、「算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか。」の設問の肯定割合は、56.5%で、県の平均を7.1ポイント、県の平均を9.1ポイント下回っている。児童は、課題に対して自力解決しようと進んで取り組むことができているので、今後は課題を多面的・多角的に捉えられるような発問の工夫を行ったり、違う解き方をペアやグループで考えたりする時間を設け、より深い学びに繋げていけるようにする。

## 宇都宮市立峰小学校（第6学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

### ★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

| 重点的な取組   | 取組の具体的な内容  | 取組に関わる調査結果   |
|--|--|--|
| 自分の考えをもった上で友達と積極的に意見を交流し、自らの考えを修正したり深めたりする力の育成 | 教材やICTを効果的に活用し、自分の考えをペアや小グループで伝え合ったり、ノートやタブレットにまとめ、意見交換をしたりする機会を設けている。 | 「PC・タブレットなどのICT機器を活用して自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる」の設問の肯定割合は、88.5%、「PC・タブレットなどのICT機器を活用して友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる」の設問の肯定割合は、97.4%で、それぞれ国の平均を9.3ポイント、11.3ポイント上回っている。 |
| 目標やめあてに基づき、学んだことを振り返る活動の充実                     | 学習展開を工夫して、今行っている学習活動を意識させ、授業を振り返るための視点を児童に与えている。                       | 「学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。」の設問の肯定割合は91%で、国の平均を10.2ポイント上回っている。   |